



学校教育目標

時代や社会の変化に対応できる知・徳・体ともに調和のとれた健全な児童の育成

校

仲よく

強く

訓

美しく

重点目標

だれもが「キラリ」と輝く
相生小学校

学校努力点

「やってみたい」「楽しそう」から始める
主体的で深い学び

みんなも自分も大切にする子

- 多様性を大切にする
- 元気なあいさつ
- 思いやりのある言葉遣い
- 失敗やトラブルから学ぶ
- 学区、地域との交流

夢に
向かって



笑顔
いっぱい



学びの大切さに気付く子

- 探究心がもてる授業
- 自分に合ったペース
や方法で学ぶ
- 自分の考えをもち、
進んで表現する
- 話し合い活動の充実

健康で活力ある生活をする子

- 進んでチャレンジし、失敗
したらやり直す
- 命の尊さや大切さ
- 交通安全指導、防災指導
- 健康講話

力
いっぱい



すべての児童が居心地の良さを感じ、安心して学べる学校



＜令和5年度の年度目標＜重点目標の具体化＞

**だれもが「キラリ」と輝く 相生小学校を重点にして、
すべての児童が居心地の良さを感じ、安心して学べる学校づくりを行います**

1 「みんなも自分も大切にする子」について

(1) 多様性を大切にする

世の中には、自分とは異なる特徴や特性をもつ人が共に存在することを知り、それを大切にする心を養う。

(2) あいさつをはじめとする基本的生活習慣の定着と自他共に大切にできる心の育成

よりよい人間関係を築くことができるよう、全教職員の協力体制のもと、時と場所などに応じたあいさつをしたり、思いやりのある言葉遣いをしたりするなどのソーシャルスキルを身に付けさせる。

(3) 失敗やトラブルから学ぶ

自分が失敗したりトラブルが起こったりしたときに、なぜ失敗したのか、なぜトラブルになってしまったのか真摯に考え、同じことを繰り返さないためにはどのようにすればいいのかを、児童自らが見付け、実践していく態度を育てる。

(4) 学区・地域の方々とのかかわりの活動を継続・実践する

学区や地域の方々との関わりを重視し、コミュニケーションを図りながら、周りの人々や学区を大切にする気持ちを養う。

2 「学びの大切さに気付く子」について

(1) 探究心がもてる授業を行う

単に知識を教え込むのではなく、児童が「やってみたい」「楽しそう」という気持ちをもてるように授業の工夫を行う。

(2) 子どもに合ったペースや方法で学べるようにする

全員が同じでなく、その子その子にあったペースや方法で学んでいけるように、タブレットも活用しながら日常的に実践に取り組む。

(3) 自分の考えをもち、進んで表現できるようにする。

教師が簡単に答えを教えてしまうのではなく、まずは、自分の考えがもてるように待つ。そして、自分の考えを安心して、友達や他学年に伝え合うことができるように工夫する。

(4) 話し合い活動の充実

教師と児童の1対1のやりとりだけでなく、グループ活動など、児童同士の話し合い活動を取り入れ、自ら課題を見付けたり、解決したりする態度を養う。

3 「健康で活力のある生活をする子」について

(1) 進んでチャレンジし、失敗したらやり直す

一人一人の子どもが安心してチャレンジし、もし、失敗したら、どうしたらいいのかを考え、もう一度やり直しができるように、日常の声かけや活動機会の設定などに努める。

(2) 命の尊さや大切さに気付かせる

様々な活動場面を活用し、命の大切さやかけがえのなさに気付かせ、自他の命を大切にする気持ちを高めさせる。

(3) 健康講話、交通安全指導、防災訓練などを通じ自分で健康・安全を守ることができるようにする

健康講話、交通安全指導、防災訓練などを通じ、自分の力で、健康や安全を守ることができるようにさせたり、環境について考えさせたりする。